

## 真実は！？



## パート①

# 今、八戸運輸区で何が起きているの？

2023年8月9日、八戸線435D列車が八戸駅発車場面で自動放送が流れず、13分遅発する事象が発生しました。運転士は車両活殺等の処置を行ったところ、放送の不具合は解消しましたが、この遅れによって上りの交換列車にも遅れが生じ、新幹線が不接続となる事象が発生しました。

**事象発生後に詳細がなかなか共有されず、訓練や職場の掲示内容が変更になり、職場からは不安や疑問の声が多く上がっています。このままでは原因究明を通じた安全を守る職場をつくる事が出来ません。**

職場の声  
①

今回の事象は8月9日に発生したにも関わらず、職場で第一報の掲示がされたのは、8月23日であり、職場で事象が共有されるのが遅すぎる。隠そうとしていたのか、そもそも当直から事象の共有がされていなかったのか？

普通、事象が発生すれば、すぐに共有され同事象が発生しないようにしているが、今回はなぜこんなに時間がかかっているのか不思議だ。事象発生の際を疑ってしまうのは当然だ！

職場の声  
②

私は当該乗務員から「おおごとにしなくていい。自山の石として留めておけ」と当直から言われたと聞いた。しかしその内容が、なかったことになっている。乗務員が正しく報告した内容を、当直が隠そうとした発言だと感じる。

正しい報告があつてこそ、原因究明と対策をたてる事が出来る。それすら隠ぺいしてしまえば、再びお客さまにご迷惑をかけてしまう。

職場の声  
③

乗務員から報告を受けた当直は、今回の事象をどのように受け止めたのか？ 取り扱い誤りであれば、すぐに事象を共有し再発事故を防ぐことが必要！ 車両故障であれば、検修に車両の修繕や調査の依頼が必要！ どちらもやっていないのはなぜ？？

しっかりと当該の当直に確認し、明らかにしなければ原因究明は出来ない！

職場の声  
④

運転士の訓練で検修に「エンド交換(後位置)すれば正常に直ると確認した」と伝えられていたけど、検修はそのようなことを一切言っていない。誤った情報を訓練で共有している。検修に責任転嫁しようとしていると感じた。

これって検修社員は絶対納得できないよね！！

これでは、正しい報告によって正しい処置が出来ない職場だね！